心あったかニュース

NMCAA
NO3

家族の ありがとう 弟から兄へ

朝日学生新聞主催の家族への感謝の気持ちを小学生がつづる第９回「いつもありがとう」作文コンクールの最優秀賞に選ばれた作品をご紹介します。原文は平仮名で書かれています。

僕は、国語と算数の授業だけ、「なかよし」というところで勉強しています。みんなとは、少し違うけどそんなこと、気にしないでいつも優しく見守ってくれたり、わからない問題を教えてくれたり、普通のように僕の相手をしてくれます。そのことがうれしくて、楽しくて毎日がおもしろいので、笑ってばかりいる日が僕にとっては大好きです。ときには、けんかをしてパパいや、ママに怒られています。ママは、僕が普通じゃないのを気にしているようで、僕よりお兄ちゃんを、激しく怒ります。お兄ちゃんは、「なんでゆきとだけを怒るの。」って言ってます。ママは、「あとであきとも怒るよ。」って言います。お兄ちゃんは、すぐ「あきとみたいに障害者になりたい。」って言います。僕は障害者じゃないと思うけど、周りからは、そう見えているんだなと感じてしまいます。そのあと、お兄ちゃんは、「あきとごめん。あきとは好きで障害になったんじゃないんだよね。大丈夫、どんなことがあっても、僕があきとを守るよ。」って言ってくれます。そんなことを言ってくれるお兄ちゃんは、誰よりも頼りになり、かっこいいお兄ちゃんです。

でも、お兄ちゃんに頼ってばかりだけじゃ嫌です。だから、僕は、お兄ちゃんみたいになれないけど、少しでも、お兄ちゃんに迷惑や、心配をかけたくないので、頑張って、ママに怒られないようにしていきたい。そして、「お兄ちゃんは悪くない。」と言えるように、勇気をだしてママたちに伝えたいです。「お兄ちゃんは、僕のせいで我慢ばかりしているんだよ。」って、周りに言われるけど、我慢はしないで欲しいです。「こんな僕は、生れてこない方がよかったんだ。」って言った時がありました。でもお兄ちゃんに、「あきとがいるから毎日が楽しくて、毎日一緒に学校に行くのができてうれしいんだよ。」「もう生まれてこなきゃよかったって言うな。」って言われました。「生まれてこなきゃよかったって子は誰一人いないんだ。」そう言った時のお兄ちゃんは、泣いていました。その時僕は、僕も生きていていいんだ。僕みたいな子でも、泣いてくれる人がいるんだと、教えてくれました。お兄ちゃんの弟として、生まれてこれて幸せです。お兄ちゃん、僕のお兄ちゃんでありがとう。お兄ちゃん僕は、ずっとお兄ちゃんの弟です。これからもよろしくね。大好きだよ。ゆきとおにいちゃん。

笑いは伝染する

笑顔は人を幸せにするというが、それは果たして本当だろうか？
ベルギーの広告会社の動画での挑戦　満員電車の重い空気の車内で、一人のおじさんが突然笑い出した「ハッハッハハッ！」その笑い声に周りのお客さんは「ギョッ！」。なかには、しかめっ面をして、あからさまな不快感を表す人もいる。冷た～いムードが漂っても笑い続けるおじさん。だが、そのとき何かをきっかけに「ふっ」と空気が変わった！　誰かがクスクスと笑いだす。すると、せきを切ったように車内が笑顔でいっぱいになったのだ！！温かい雰囲気に。眉間にシワを寄せていた女性も微笑んでいる。挑戦は大成功だ！！

（ロケットニュースより）

編集後記

ケンカの中からも、お互いが大切なものを知ることができ、絆を深くして幸せに気づいていく。みんなが大切な命です。素直な心があれば、ケンカしたって仲直りどころか、大事なことに気づいていける。大人が忘れていることを思いださせてくれてありがとう。そして笑顔の強さを教えてくれてありがとう